

名工大硬式野球部 2部リーグ昇格へ向け奮闘中

理工学部応用物理分野 3年 硬式野球部主将

大須賀 崇真

硬式野球部は、2023年度愛知大学野球連盟3部春季リーグ戦において、7戦全勝の成績で優勝を果たすことができ、昨年に引き続き入替戦に進出、2部昇格への挑戦権を手にした。今年のリーグ戦では厳しい戦いを強いられる展開が多く、何度も負けそうになったが、最後まであきらめない気持ちを胸に、選手・マネージャー一丸となって戦った結果、勝つことができた。特に、勝てば優勝が決まる南山大学戦では1点ビハインドの8回2死からチャンスを作り、チームの要である山中がスリーランを放ち、逆転。ベンチでは選手みんなが感情を爆発させた。

名工大硬式野球部はこれまでの学生野球とはまた少し違い、それぞれが自主性を重んじ、どうすればもっと上手くなるのかを考え、練習に取り組んでいる。そして時には部員同士、先輩後輩間で意見を交換し、アドバイスをし合って互いに切磋琢磨している。自分も主将として誰よりも練習をし、行動で示してきた。考え方の違いから衝突することもあったが、今はチーム全体として同じ方向を向いて試合に臨むことができていると思う。

そして今年、再び2部昇格へリベンジのチャンスが巡ってきた。昨年は第1週で名古屋産業大学に勝利したものの、第2週では名古屋商科大学に敗北。名商大には力の差を見せつけられてしまったが、勝てない相手ではないとわかった。そして、この雪辱を果たすために全員で練習に取り組んできた。

昨年はコロナの影響で2週勝ち抜きと少し特殊であったが、今年からは例年通り1週で決まる一発勝負。20数年ぶりの2部昇格へ、チーム全員で全力を尽くして戦っていく。個人としては主将としてチームの先頭に立ち、1番バッターとして全打席出塁する気持ちで挑みたい。

また、日頃から硬式野球部を支えてくださっている保護者や硬式野球部を気にかけてくださるOBの皆様、そして指揮をとってくださる伊藤先生と部長としてチームのことからグラウンドのことまでお世話になっている加藤先生への感謝の気持ちを忘れずにプレーしたいと思う。昨年の入替戦ではたくさんの方々からご声援をいただき、実際にスタンドからも熱い応援を受け、とても力になった。勝って良い報告ができるように頑張りたい。



試合後のミーティング風景